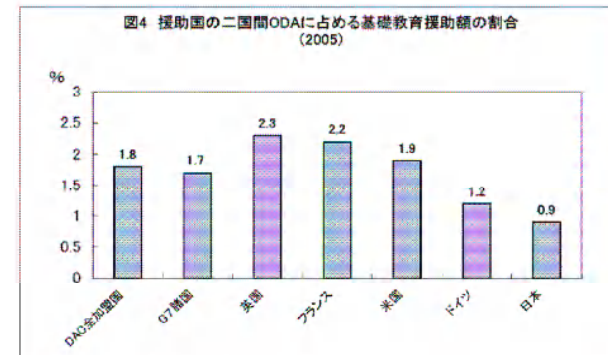


2008年G8に向けた 教育分野ODAへの提言

教育協力NGOネットワーク(JNNE)

三宅隆史

提言1 「より多く」・・・二国間援助の基礎教育分野への援助額は倍増を！



出所：OECD DAC online database, 2006

提言2 「より早く」・・・教育に意欲を持つ国に、日本は豊かさ相応の支援を！

- 信頼できる計画と意欲を持つ国への援助を優先するしくみ「EFAファスト・トラック・イニシアティブ(FTI)」(2002年～)
- 世界エイズ・結核・マラリア対策基金への日本の拠出額4億7600万ドル
- 2006年のFTI対象国の資金不足額(必要な外部資金-援助額)が5億ドル
- FTI基金への日本の拠出額: ?
 - 英国は2.6億ドルを2008年までに拠出表明

提言3 「より良く」・・・校舎建設に終わらず、教育を営むための支援を！

- 途上国の教育予算は、経常経費が9割。
- サブサハラアフリカでは160万人の教員を新規に養成・採用する必要がある。
 1. 無償資金協力で基礎教育分野の経常経費支援を条件つきで。
 2. 「貧困削減支援無償」の拡充。
 3. EFAの市民社会組織の能力強化を支援。
 4. 学校建設の無償資金協力をアンタイド化。「コミュニティ支援無償」を各銃。